



月2回刊=1669号  
2025年3月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸九番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

### 3・10 春闘人事課総括課長交渉

## 全職員のがんばりに報いる 賃金・労働条件改善を！



▲内城人事課総括課長に要求書を手渡す小田嶋中央執行委員長 (右)



▲人事課総括課長交渉に臨む県職労交渉団

県職労は、3月1日の県職連合第37回・県職労第133回臨時大会において確立した春闘方針に基づき、3月10日に人事課総括課長交渉を行い、来年度の人員配置、危機管理対応、会計年度任用職員課題をはじめ、安心して働ける職場環境改善等に関し交渉を行った。また、今年度の人事異動内示スケジュールは「非常に遺憾」と伝え、来年度の異動内示のスケジュール前倒し、着任7日間の保障、4月1日着任の強要回避を強く求めた。

#### 賃金水準改善

【県職労】全職員のがんばりに報いる賃金・労働条件改善の取り組みを。

【人事課】鳥インフルエンザ対応業務に従事した職員について、6月に支給する勤勉手当の評価に反映。担当課長級職員に係る主任任用は、結果として、例年よりも減少見込み。

#### 初任給格付改善

【県職労】今年4月の初任給基準引上げに伴う在職者

調整の具体的内容を示してほしい。

【人事課】初任給基準の引上げに係る在職者調整は、2022年度以降の採用者について本年4月1日に最大で3号給の調整を行う方向で人事委員会と協議を進めている。

【初任給格付改善】初任給基準は試験区分ごとの能力実証を前提に設定

【人事課】2025年4月の採用人数は正確に答えられないが、知事部局では2024年度を大きく上回る採用を予定。土木職、獣医師、薬剤師等、一部の職種では採用予定数の確保に至っていない。現時点で、2025年4月に事務職の欠員は生じない見込みだが、技術職は一定数の欠員が生じる見込み。

【超勤手当不払い】超勤手当不払いがないよう、予算の適正配分を。

### 住所変更等の手続を忘れずに！

県職労では独自の共済制度として「総合共済」を設けています。住宅災害時の給付には正確な住所登録が必要で、住所変更がされていない場合は給付の対象外となりますのでご注意ください。定期人事異動等により住所が変わった場合には、忘れずにお手数続きをお願いいたします。届出用紙は各支部書記局にありますので、お気軽にお問い合わせください。

#### 「人事課」今年度の2月補正予算

正予算で約1億2千万円増額。鳥インフルエンザの後半事業は専決処分で予算措置。サービス残業はあつてはならないという認識は、皆さんと一致。山林火災対応分も支障ないようにする。

#### 人事異動

【県職労】今年度の内示スケジュールは非常に遺憾。来年度のスケジュール前倒し、着任7日間の保障、4月1日着任の強要回避を。

#### 人員体制

【人事課】採用内定者や退職予定者の意向が3月上旬にも確定しないこと、他団体との調整もあるため、職員情報の確度の向上と、事務引継ぎを含めた早期の内示のバランスを図った結果、今年度は14日の内示となった。できる限り配慮していきたいが、こうした事情も理解いただきたい。

1週間以内に着任できない場合、所属長の承認を得た上で、柔軟な対応も可能であることを周知する。

着任期間中も職務専念義務があるため、業務従事が必要。引越し作業など業務以外で着任できない場合は休暇取得を要することも併せて周知する。

#### 危機管理対応

【県職労】昨年10月25日に提出した「家畜伝染病等の危機事案発生時における対応に係る要請書」のこれまでの検討状況及び改善状況を示してほしい。

【人事課】復興防災部を中心に検討を重ね、報告書を取りまとめ、庁内で共有した。防疫作業への外部委託の導入は、今般の鳥インフルエンザ対応から実施。防疫等作業手当は国と同額で、東北各県と均衡しているが、今回の鳥インフルエンザは、職員の心身への負担も大きく、どうか職員に報いていくか検討したい。

#### 合同庁舎機械警備化

【県職労】盛岡以外の各合同庁舎機械警備化による業務量の増を適切に見積もって人員確保し、増加した超過勤務には確実に超過勤務手当を支給すべき。不具合が生じた場合は、有人警備の再開を含め、組織的な対応をしてほしい。

#### 「人事課」適切な超過勤務手当を支給すること

【人事課】適切な超過勤務手当を支給することは当然。課題が生じた場合、管財課や各合同庁舎の管理者において、連携しながら対応していく。

記録等の客観的な記録を管理監督者が確認することで、超過勤務とすることも制度上は可能。他県の状況等を注視する。

#### 会計年度任用職員

【県職労】人員減で職場は疲弊している。任用確保を。

【人事課】育休代替や国勢調査でフルタイム5人増、パート12人増の見込。

【県職労】各合同庁舎「総合案内員」の任用継続を求め声が多い。人事課も立ち止まって再検討すべき。

【人事課】ふるさと振興部を中心に、関係部局一体で当該職の任用によらない業務実施体制の具体的検討を行うよう求めたもの。適正な人員確保に努めていく。

【県職労】現場の負担感と乖離している。慎重に対処すべき。

## 退任役員紹介

3月31日をもって3人の本部役員が退任される。それぞれの立場で県職労の運動を担っていただき、多くの成果を勝ち取ることができた。課題前進に向けてご尽力いただいたことに改めて感謝の意を表し、引き続き評議会・支部・職場での運動前進に向け頑張ってください。

#### 書記次長

高谷 琢人 (県庁支部)

#### 中央執行委員

菊池 勉 (県庁支部)

#### 樋口 晃大 (県庁支部)

長い間本場にありがとうございました。



### 第五世代

昔の人間の平均寿命は30代であり、40歳から長寿とされていた。現代では、医学の進歩により、平均寿命が80歳を越える寿命となっており、将来は100年が平均寿命になるのではないだろうか。人生は過ぎてしまえば一瞬かもしれない。それを言うなら、セミは成虫になつて10日程で生涯を終えることから、セミからすれば「ミン・ミン」しながら「人生マジ・短いなだけ」と愚痴をこぼしているかもしれない。逆を言えば、「鶴は千年亀は万年」ということわざがあるように、千年生きる鶴とされる鶴の一声は「もう、ええよ。生きるのに疲れたよ」と言っているのかもしれない。実際には、鶴も亀も人間より寿命は短い。が、タイムイズマネー」という言葉を一度は聞いたことがあるのではないだろうか。時間はお金と同じくらい大切で無駄にしないという意味である。一秒単位までムダにするなどとは言わないが限られた時間を大切に使う必要がある。皆平等に1日24時間という時間が与えられており、その限られた時間をどのように使うべきか考えていただきたい。

# 退職者の皆さんありがとうございました

3月となり、今年も多くの先輩、仲間の皆さんが退職されます。

長い年月、県勢発展のため第一線で働いてこられた先輩の皆さんには、県職労の権利拡大や組織強化のため支部や分会、いろいろな場面で運動を支えていただきましたこと心から感謝申し上げます。

組合員・準組合員の皆さんのお名前を掲載させていただきます。(順不同・敬称略。3月14日現在。なお、掲載を希望しないと申し出のあった方は掲載をしております)

## ▼県庁支

- 尾形 哲哉 (スポーツ振興課)
- 遠藤 秀則 (資源循環推進課)
- 新田 富士男 (地域福祉課)
- 佐々木 良生 (地域福祉課)
- 安藤 薫 (森林保全課)
- 泉田 満穂 (森林保全課)
- 中井 一広 (水産振興課)
- 岩淵 貞美 (道路環境課)
- 高橋 浩幸 (岩手県労働委員会事務局)
- 海上 博 (産業経済交流課)
- 工藤 巨農 (林水産部)
- 菅原 常彦 (国土整備部)
- 堀越 健 (岩手県海区漁業調整委員会事務局)
- 三河 孝司 (定住推進・雇用労働室)
- 川村 一弘 (観光・プロモーション室)
- 太田 聡士 (農林水産企画室)
- 互野 裕子 (健康サポートルーム)

## ▼盛岡支部

- 佐藤 喜代 (岩手県立療育センター)
- 前澤 明子 (盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 上野 里美 (盛岡広域振興局経営企画部)
- 堀田 昌宏 (岩手県工業技術センター)
- 工藤 明彦 (岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 伊藤 修 (岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 池野 圭祐 (八幡平農業改良普及センター)
- 櫻田 弘光 (盛岡農業改良普及センター)
- 藤原 正 (盛岡広域振興局土木部若手土木センター)
- 谷藤 親史 (岩手県立産業技術短期大学)
- 泉田 福典 (岩手県立産業技術短期大学)

## ▼花巻支部

- 川村 裕二 (県南広域振興局保健福祉環境部花巻保健福祉環境センター)
- 高橋 和則 (県南広域振興局農政部花巻農林振興センター)
- 長沼 英友 (花巻空港事務所)
- 佐藤 結子 (県南広域振興局保健福祉環境部花巻保健福祉環境センター)
- 曳地 信子 (県南広域振興局保健福祉環境部花巻保健福祉環境センター)

## ▼北上支部

- 砂川 智 (県南広域振興局土木部北上土木センター)
- 鈴木 哲 (岩手県立農業大学校)
- 八重樫 耕一 (岩手県農業研究センター)
- 千葉 克彦 (岩手県農業研究センター)
- 伊勢 智宏 (岩手県農業研究センター)

## ▼胆江支部

- 澤部 典男 (県南広域振興局保健福祉環境部)
- 大谷 孝文 (県南広域振興局保健福祉環境部)
- 原 昌雄 (県南広域振興局保健福祉環境部)
- 宮 昌隆 (県南広域振興局経営企画部)
- 山田 昭人 (県南広域振興局総務部)
- 和泉 正義 (岩手県立産業技術短期大学校水沢校)
- 松本 徹 (岩手県農業研究センター種山畜産研究室)
- 八重樫 明美 (岩手県職員労働組合)
- 佐藤 岳人 (県南広域振興局総務部)
- 澤口 勝彦 (県南広域振興局農政部農村整備室)
- 後藤 巖 (県南広域振興局農政部農村整備室)
- 上道 功太 (県南広域振興局農政部農村整備室)

## ▼一関支部

- 渡辺 一世 (県南広域振興局保健福祉環境部一関保健福祉環境センター)
- 伊東 芳樹 (一関農業改良普及センター)
- 工藤 友喜 (県南広域振興局農政部一関農村整備センター)

## ▼気仙支部

- 岩山 啓子 (沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター)
- 菊地 健司 (沿岸広域振興局土木部大船渡未センター住居事務所)

## ▼釜石支部

- 山本 裕 (沿岸広域振興局水産部)
- 横澤 祐司 (沿岸広域振興局水産部)

## ▼宮古支部

- 佐々木 博幸 (沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター)

## ▼久慈支部

- 勝部 和則 (久慈農業改良普及センター)
- 世良田 研 (県北広域振興局保健福祉環境部)
- 藤本 勝彦 (県北広域振興局水産部)

## ▼二戸支部

- 中家 武雄 (県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室)
- 松山 和弘 (県北広域振興局保健福祉環境部二戸保健福祉環境センター)
- 大里 達朗 (岩手県農業研究センター県北農業研究所)
- 柳谷 浩子 (二戸農業改良普及センター)

## 職場の問題点を明らかにし、改善実現を

### 3・8 税務協議会

3月8日、2024 税務職員協議会総会が開催された。冒頭、佐藤会長より「今年度は、自治労都道府県税務職員連絡協議会（以下、全国税協という。）が栃木県の鬼怒川温泉で開催された。そこで、兵庫県から知事再選後の



▲2024税務職員協議会総会の様子

がたい状況であることから、組織率が過半数割れの岩手県は最低でも現状を維持し、過半数超えを目指し課題解決していくためには、評協議会、特に税務協の活動を継続していくことが重要である。協力をいただきたい」とあいさつ。



八重樫 明美書記 (胆江支部)

## 書記の退職と再任用のお知らせ

3月末をもって、胆江支部の八重樫明美書記が定年退職します。八重樫書記は、1993年5月に採用され、2005年7月から胆江支部に勤務し、31年余にわたり、県職労運動の前進を支えてきました。

八重樫書記は、4月から再任用書記として引き続き胆江支部で勤務します。これからのよろしくお祈いします。

気仙支部の黒田有美書記は、2024年12月末で退職しました。宮古支部の菅野千恵臨時書記は、3月末で退職します。これまでの功績に感謝し、今後一層の活躍を期待します。



防疫作業支援等もあり、職員との更なる業務負担増加が懸念される状況に立ち向かうべく、職場改善要求や実感できる働き方改革を目指した取り組みなどを柱とした運動方針の提起がなされ、全会一致で採択された。

税務職員協議会では、組合員や職場が抱える課題の共有と、職場環境改善を目指し、取組を強化していく。

【2025 税務協役員体制】

会長 佐藤勝志 (二戸)

副会長 小原将貴 (胆江)

副会長 千葉拓也 (県庁)

事務局長 高橋未来 (宮古)

事務次長 大村雄哉 (花巻)